

【意見】

「エジプトの首都カイロで12日午後3時(日本時間午後10時)ころ、強い地震があり、約1分間揺れが続いた」(朝日新聞1992年10月13日朝刊第1面)

このように、海外で絶えず起こりつつある事件の報道には日本での時刻への換算が欠かせない。ところがマスコミでは「日本時刻」と言うべきところを、すべて「日本時間」と言っている。「広辞苑」(第4版、1991)によれば、時間とは「時の流れの二点間(の長さ)」であり、時刻とは「時の流れにおける或る一瞬」である。両者ははっきり区別せねばならない。日本交通公社発行の、列車等の発着時刻を記したものは「時刻表」であって「時間表」ではない。学会はマスコミに働きかけて常用の「日本時間」を「日本時刻」か「日本時」(正式には日本中央標準時)に言い換えるよう要望していただきたい。両者の混同は天文学のみならず理科教育全般に拘る問題であると思う。

佐藤明達(東京都)

【編集部より】

ただいま募集中!

「天文月報」で使用する、天文学に関係のあるカットや天体写真を会員のみなさんから募集しています。ふるってご応募下さい(詳しくは本誌1992年2月号90ページをご覧ください)。

また、星空市場では、会員の皆様から、「意見」「質問・相談」「ゆずります」「ください」の原稿を随時受け付けております。原稿の形式は問いません。上記の区別を明記の上、日本天文学会天文月報編集部までお寄せください。

宛先は〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

日本天文学会 天文月報編集部まで、あなたの連絡先をお忘れなく!

締切について

「天文月報」の原稿は掲載予定号の月の3か月前の20日が締切です(例えば4月号ならば1月20日)。研究会案内や人事公募など掲載号に条件があるものは特にこれに間に合うようにお願いします。



(東京都 大森幸子)

編集委員	佐藤修二(編集長)、一本 潔、梅村雅之、奥村幸子、谷川清隆、堂谷忠晴、半田利弘
平成4年11月20日	発行人 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内
印刷発行	印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12
定価550円(本体534円)	発行所 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内
	電話 (0422)31-1359
	振替口座 東京 6-13595